

## 「ドラマを観ているときに」アンケート結果報告

標記の件について集計いたしましたので、ご報告いたします。  
理解とご協力をご感謝いたします。

### 記

#### 1. アンケート趣旨

NPOピーチハウスでは、人権啓発と暴力未然防止を目的として、子どもから大人まで広い世代に性の健康教育について伝えています。保護者対象の講座の中でよくある質問の1つに、「子どもとドラマを観ているときに性的なシーンや言葉が出てきた時の対応をどのようにしたらよいか」というものがあります。実際に子どもたちはどのように感じているかを保護者と共有した上で、性的なシーンや言葉への対応をより具体的に考えるための参考資料とするために実施しました。

#### 2. アンケート対象

性の健康教育講を実施した北海道内高校生  
具体的には、道立高校 3校 私立高校2校 計5校

#### 3. アンケート回収状況

回収数 : 1,135票 うち白票・無効票 : 38票 有効票数 : 1,097票

#### 4. アンケート期間

2014年4月～12月

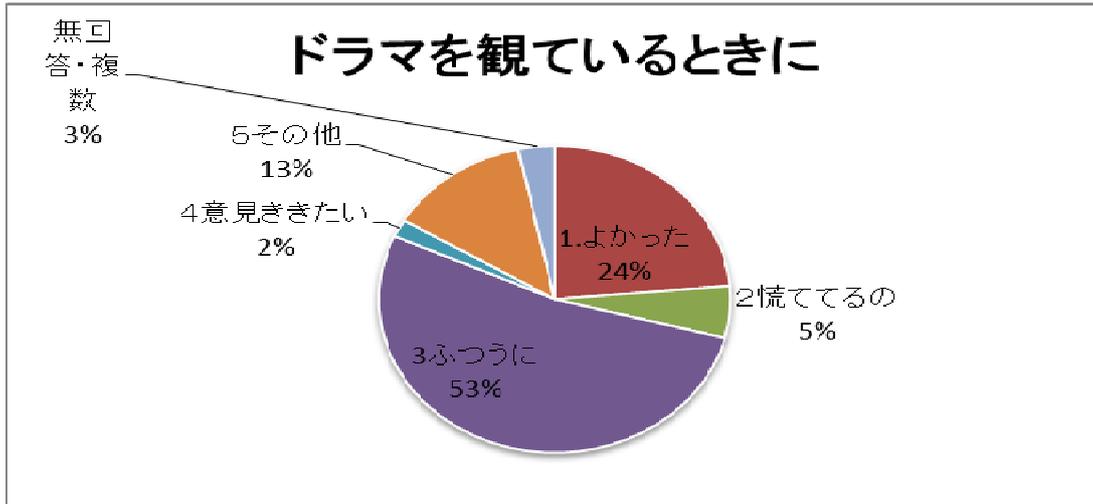
#### 5. アンケート内容（設問は1つ）

設問 小学校5, 6年の頃、親とテレビを見ている時にエッチなシーンが！親は突然黙ってチャンネルを変えました。この時のあなたの一番近い気持ちを1つ選んで数字に○をしてください。

- 答え
1. 「よかった」あるいは「ほっとした」。
  2. なに慌てているの？もっとハードなこと知っているよ。
  3. わざとらしくチャンネル変えないでいたって普通にしてほしい
  4. この機会に親の意見（性について）を聞きたい。
  5. その他（自由回答）

## 6. アンケート結果

1.よかった	2何慌ててるの	3ふつうに	4意見ききたい	5その他	無回答
268	62	598	21	148	38
24%	5%	53%	2%	13%	3%



学校によって、回答の順位が変わることはなく、ほぼ同じ%となった。  
 一校のみ、2. 何慌てているのが、13%、3. 普通に が46%となった。  
 なお、その他の自由回答欄にかかれた内容は以下のとおり。

- 特に何も思わない、気にしない 41
- このころの自分には理解できなかった/何も知らなかった/わからなかった 7
- きまずい 4
- そもそもテレビをみていない3
- 自分の親がふつうににやにやしているから情景が思い浮かばない 3
- 目にしたら自分が別の場所に移動する3
- 何故かえたんだろう 4
- 変えてもかえなくてもどうでもよい2
- 覚えていない2
- え?2
- わらっちゃう
- 意識しすぎ
- 男女でなにしていたの?
- さりげなくチャンネルを変えてほしい

親子でじっとみていた  
チャンネルかえるのだったら自分の好きな番組にさせてほしい  
無視  
うっとおしい  
親が教育番組しかみせてくれなかったからわからない  
違う番組みたかったんだな  
設定の場面のようなことはなかったのでよく解らない  
逆に面白い番組になってよかったと思った  
一緒にテレビみることがなかった  
親がチャンネルをかえない  
気にせずそっとしとく  
なんでそんなことなのかぎゃくにいみがわからない  
水を飲みにいく  
母さんにそのチャンネルみせてと頼む  
なにしてんねんと言う  
慌てているので面白い  
親が自分に対してみせない方がいいと思ったのかなと思った  
なんで変えるんだよ！！  
よくわからないから黙っている

## 7. 所感

どこの高校でも 回答の項目が占める割合が同じことが興味深い。また、回答5. その他 の項目での「気にしない」等の50票を入れると、回答2.「いたって普通にできて欲しい」の回答率が60%を超える。このことより、多くの子どもたちが、チャンネルを特に変えたりする必要はないと感じていることが推察できる。一方で子どもたちが保護者の様子をつぶさに観察し、態度からたくさんのメッセージを受け取っていることも、わざとらしい、慌てている、親も喜んでいる等自由回答から感じられる。

一方で、回答1「変えてもらってほっとした。」という気持ちでいる子どもたちも1/4を占める割合でいる事実も興味深い。「ほっとする」ということはドラマで映し出されるエッチなシーン、また、エッチなシーンを親と観ることについて、子どもたちも安心した気持ち、心地よい気持ちではない、緊張した気持ちでいるとも考えられる。ドラマを作成するとき、または放送するときには、是非、この点を考慮してほしいと感じる。4人に一人の子どもが緊張を覚え、保護者に至ってはもっと多くの人子どもと性的場面が含まれるドラマを

みることを不快と感じているのだから、放送の時間帯の変更や性的場面が報道されることの予告を希望する。

保護者への性の健康教育講座に寄せられる声の1つに、「チャンネルを黙って変えてしまい後悔している。」「性的な場面について説明したかったが、何をいってよいかわからずに変えてしまった。良かったのか。」などがある。だが、チャンネルを変えてもらって「ほっとした。」子どもたち4人に一人はいると考えるとき、チャンネルをかえるときの説明が必須だと考える必要もない。

自由回答を眺めるときに、実に子どもたちはこの場面から多くの情報を受け取っていることもうかがわれる。また、すでにその場面以前に多くの性的情報を受け取っていることも然り。せっかくの対話のチャンスであることも確かだろう。保護者は、常に性的な場면을説明しよう！とにかく見せてはいけない！と緊張する必要はないである。性的場面がでてきたら「一度ぐらいは、何か話をつないでみよう？」とイメージトレーニング、準備体操をしておくと気持ちがお楽になるのではないか。残念ではあるが、今後はますます、iPad、パソコン、ゲーム機、携帯電話など、情報を媒体する機械が増え親からは見えないところで子どもたちが性的情報に触れていくことは間違いない。ドラマで一緒に見ているときにどう感じるか対話をつなぐよいチャンス！ととらえてみてはどうだろう。

以上